

エが

第316号

公民館報

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

四賀の世帯数・人口

世帯数	1,946	世帯
人口	4,554	人
男	2,200	人
女	2,354	人

(平成30年5月1日現在)

住民主体の地域づくりの 果たす役割が益々重要に



四賀地区地域づくり
センター長(四賀支所長)
胡桃澤 伸一

この四月から四賀地区地域づくりセンター長としてお世話になることになりました。胡桃澤伸一です。どうぞよろしくお願いいたします。

四賀地区は、自然と人にやさしいまちづくりが受け継がれ、見守りや生活の支え合いがある素晴らしい地域です。平成十七年に松本市に合併した四賀地区(旧四賀村)は、合併当時六〇七〇人だった人口が四五五四人まで減少し、高齢化率四十二・二%と二人に一人が六十五歳であり、急速に進む少子高齢化に伴う人口減少が深刻な問題となっています。

このような中、松本市では、平成二十八年度より四賀地区をモデル地区として、地域

包括ケアシステムづくり(誰もが住み慣れた家で、地域で安心して暮らし続けることができる仕組み)に向けた検討を、住民や団体の皆さんと協働を進めてまいりました。

また、松本市では、「健康寿命延伸都市・松本」をさらに創造していくため、もう一段上のまちづくり「生きがいのあるまちづくり」に取り組みむこととして、市民一人ひとりが幸せを実感できる「伸びやかで、明るいまちづくり」に取り組んでいます。

四賀地区では、公民館活動をはじめとする様々なイベントや地域活動が活発に行われております。今後、こうした住民主体の地域づくりの果たす役割が益々重要となりますので、今まで以上に皆様のお力添えをお願いしたいと思っております。

今回、四賀地区の皆さんと一緒に地域づくりを進めていくにあたり、職員一同全力を尽くす所存でありますので、ご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

四賀の里クリニック 四月一日開所しました

会田病院が、四月一日から入院機能を廃止し、「四賀の里クリニック」として無床診療所となりました。

病院としては、人口の減少や人手不足で住民の医療ニーズにこたえられなくなり、患者数の減少などで二十六年度に診療所化が決定しました。今後は、医師一人、看護師五人を含む十七人の職員体制で、内科、外科の外来診療の他、二十五年から休止していた訪問看護を再開し、「看取り」などの在宅医療の充実を図りながら市立病院とも連携し、患者さんにきめ細やかな対応をしていきます。

現在の建物は、昭和六十年に建設された老朽化が進んでいます。三十四年度の市立病院の移転開院に合わせ、本年度内に四賀地区で建て替え候補地を選定していく予定です。



毎月十一日は「信州あいさつ運動」の日です。家庭や地域でお互いあいさつをすることで、みんながつながり、地域を元気にして、地域ぐるみで子どもの育ちを応援しよう。平成二十六年四月から県などの主催で始まりました。

四賀地区でも三年前からのあいさつ運動に取り組んでいます。新学期の四月十一日の朝には地域づくりセンターの職員が支所前に並び、スクールバスから降りてくる四賀小学校の児童に「おはよう」「いってらっしゃい」と元気に声をかけていました。毎月恒例のあいさつに、笑顔でハイタッチして応える児童もいて、朝からなごやかな光景が繰り広げられました。

地域の皆さまの参加もお待ちしております。朝、子どもたちを見かけたら「おはよう」と声をかけてください。

平成30年度 町会長・町内公民館長・体育部長名簿

Table with columns: 町会名, 町会長, 備考, 公民館長, 備考, 体育部長, 備考. Lists names and roles for various town associations.

四賀公民館委員

公民館事業の企画立案・運営をしていただく、四賀公民館委員の皆さんを紹介いたします。

◆運営委員会

- ◎大澤好市 ○坪田 稔
佐々木清夫 市川明仁
中嶋 博 関口秀徳
山岸 忍 瀧澤正行
長石政雄 常田兼弘

◆館報編集委員会

- ◎中嶋 博 ○小沢幸子
藤松正之 松村京子
溝口清水

◆体育委員会

- ◎市川明仁 ○望月 剛
岩瀬満喜子 上田剛史
青木美枝 麻生仁志
横山健治 小口正盛

◆図書視聴覚委員会

- ◎関口秀徳 ○山田光子
坪田芳子 本木智恵子
児玉りえ 中澤恵利子
草田美奈子

◆文化委員会

- ◎佐々木清夫 ○齋藤一徳
瀧澤長子 瀧澤正行
竹内政恵 横内恰子
小林雅子 常田兼弘
小林亮一 望月 清
坪田 稔 藤松正之

職員紹介

四賀地区地域づくりセンター

- センター長 胡桃澤伸一
課長補佐 増田 香
主 査 佐藤和彦
嘱託職員 久保田洋子
横山栄子
臨時職員 川久保友美
海野寿子

健康づくり課

- 北部保健センター(四賀担当)
保健師 伊東裕輔

農政課

- 生産振興担当(四賀農林担当)
課長補佐 青木美伸
生産振興担当係長
降旗 優
主 査 竹内則義
嘱託職員 米倉文博

人事異動

四賀地区地域づくりセンター

- センター長 内山博司
主任 藤森 孝
嘱託職員 金子美津代(退職)
研究員 丸山裕也(退職)
臨時職員 本林秀一

維持課管理担当(地籍調査)

- 課長補佐 柏原秀昭
嘱託職員 大久保博勝
中田将之

四賀公民館

- 館 長 百瀬光男
公民館主事 深澤勝彦
臨時職員 田中明日花



園原花桃ウォーキング

雨の音で目が覚めました。楽しみにしていた花桃ウォーキングなのに！何ということだ！行いの悪い人がいるのだと思いつつ仕度をして支所に行くついでに大勢の方がバスに乗っていました。

バスが出発すると自然インストラクターの横内文人先生から国道の名前や地名の由来からこの花桃の解説など軽快な話術により大雨を感じさせない車中でした。

阿智村に着く頃には参加者の全員の行いが良いらしく薄日が射し、「源平桃」の赤と白の咲き分けが雨に濡れ輝いていました。

川沿いの五千本の花桃の中を歩きましたが、また蕾も多く、桃源郷と呼ぶ眺めには少し早く残念でした。春の訪れを感じ清々しい中を歩く心と企画をありがと(う)ございました。

(川久保英津さんの投稿)

湧き水

▼四賀地域の活性化が謳われてきてもう何年も時間が経過してしまいました。高齢化や人口減少で、私の住む近隣でも、老人の一人・二人世帯がとて増えているのが現状です。

私も六〇代後半に突入、昔ながら年寄りの部類でしたが、今はまだまだ若いということ町会の仕事に駆り出されています。出来るんだらうかと思いつつこなしてはいるものの、正直なかなかきついです。何か良い方法は無いでしょうか？

▼近年、四賀地区に飲食店の数が増えています。地元の人だけでなく、Iターンで来た方も起業しています。私も会田で営業しておりますが、殆んど人通りはないという現状から、内外からの人通りが増えればと期待しています。個々の努力が大事ですが、住民みなさんの協力で、元気な姿になってゆく四賀の姿を見たいものです。▼旧会田小学校の跡が更地となりました。寂しい限りですが、視界が広がり、常念岳をはじめ北アルプスの姿がとても美しく見えます。公園になれば良いのに、と春の風景の中ぼんやりと思えます。